

# まちづくり ジオラマで提案

## 有佐駅周辺 高専八代生が制作、展示



氷川町役場で開かれている熊本高専八代キャンパス生のジオラマ展  
＝23日、氷川町

熊本高専八代キャンパス(八代市)の建築社会デザイン工学科の学生ら12人が、氷川町と取り組んでいるJR有佐駅(八代市)の駅前通り周辺のまちづくりデザインをジオラマで制作した。5月8日まで町役場に展示している。

町と八代キャンパスは2020年、地域振興に関する連携協定を締結。25年度は、氷川町の最寄り駅である有佐駅と主要幹線道の国道3号を結ぶ駅前通りのまちづくりについて意見を交わした。

ジオラマは2基。「人が集って過ごしたくなる場所」がコンセプトの作品は、空き地を活用した休憩スペースなど地域交流の場の設置を提案した。「自然と一緒に静かに暮らせる場所」がテーマの作品は、駅周辺の神社や水路を生かした回遊性のあるまちづくりを提案している。

指導する森山学教授(54)は「地域のコミュニティに触れ、町の良さを表現した生徒の作品を多くの町民に見てもらいたい」と話している。

(水田智)